

座談会
3

新人職員座談会



物流部
物流二課

佐々木 健也

2021年
入会

旭川支所
生産資材課

片桐 友里香

2021年
入会

種苗園芸部
野菜果実花き課

近藤 柊人

2021年
入会

札幌市の本所に勤務。ホクレンの物流業務を担当。

旭川支所に勤務。肥料や農薬を、JAを通じて生産者へ供給する業務を担当。

札幌市の本所に勤務。全道から集めた農産物の生育状況の調査業務・残留農薬調査業務を担当。

※2023年2月より帯広支所 青果課に異動

(座談会は2021年10月実施)

行動を起こし、自分の目で見極める就活を。

ホクレンに入ったきっかけとは？

ホクレンを志望した理由を教えてください。

佐々木 農業に携わる仕事がしたかったことと、北海道で仕事がしたかったことの2つが理由ですね。祖父母が玉ねぎを作る農家でしたし、友人は米農家だったので田植えを手伝うなど、農業になじみがあったこともホクレンを志望した理由です。

片桐 大学時代に農家の皆さんのお手伝いをするサークルに入っていたことがきっかけで、農業に関心を持つようになりました。農家の皆さんを近くで見ているうちに、農業に携わる人たちを支える仕事がしたいと思うようになりました。就職活動は、食品メーカーと農業関係の仕事の2択で悩みましたが、ホクレンの“つくる人を幸せに 食べる人を笑顔に”というコーポレートメッセージを知り、自分が食品メーカーと農業関係の会社でやりたいと思っていたことが表現されていたので、「ここだ!」と思い決めました。

近藤 僕も祖父母の家が農家で、馬鈴しょ・たまねぎ・ピート・麦などを作っており、小さいころから農作業のお手伝い（邪魔!?笑）をしながら、あたり前に畑がある環境で育ちました。祖父母が夜中にハウスの雪を降ろしたりするなど農業の大変さを間近に見てきたので、何か農家の皆さんを支えられる仕事に就きたいというのが志望理由です。



就活中の思い出

一就活の中で印象に残っていることはありますか？



佐々木 ほとんどがWEB面接でしたので、自分を上手くアピールできているか不安になることが多かったです。

近藤 僕は早期選考でホクレンを受けたのですが、最初から対面だったので緊張しました。ただ、親戚に農家がいたのもあって、他の企業の面接と比べると、素の自分で話すことが出来ましたし自分の想いをしっかりと伝えることが出来ました。

片桐 コロナ禍だったので授業も企業説明会もオンラインでした。研究室にこもって、同じ人としか話さない日常だったので、同期の就活生と会う機会もなく周りが見えないことで常に焦りがありましたね。他社の早期選考なども中止になったりしていたので、比較的ゆっくりな就職活動だったのではないかと思います。

近藤 僕は割と周りが見える環境にいて結構危機感を感じていたのですが、周りが見えない環境も良かったのかもしれないよね。

職場や先輩の印象

一入会後の職場の雰囲気や先輩方への率直な印象を教えてください。

片桐 入ってみたら思っていた以上に“がつつり”営業だなという印象です（笑）。農業の現場という印象があったのですが、ものを売る仕事なので当然なんですけどね。

佐々木 入る前は農家の方とふれあうことをイメージしていたのですが、僕のいる物流部は産地から倉庫や商社などへ様々なものを運ぶ手配を行う仕事なので、部署によって結構違いますね。職場の先輩方には、とても丁寧に色々なことを教えていただいています。資料ひとつ作るにもわかりやすく、仕事が進めやすいように配慮していただいていると感じています。

近藤 僕は初めて出勤したとき、皆さん忙しそうにしている姿を見て、ここでやっていけるのだろうかと不安になりました。でも実際に働いてみると、みんな本当に優しくて愛があるんです。何を聞いてもやさしく教えてくれるし、自分の能力の2つ上ぐらいのことをやらせてもらえるので自分に甘えず成長できる良い場所だと感じています。

片桐 忙しそうにしている人でも、声をかけると絶対嫌な顔をせず、手を止めて一緒にやってくれるんです。



今後の目標

ーこれからの仕事における夢・目標はなんですか？

佐々木 直近の目標は、今は上司の指示を仰ぎながらやっていることを、自分の判断で進めていけるようになりたいですね。上司からも言われますが目標数字も意識しながらやってけるようになりたいと思います。

近藤 僕も教わらないとできない状況がまだまだ多いので、トラブルがあっても僕の判断で対応できるようになりたいですね。今後道外や支所などに異動になることがあると思いますが、全体を見ることができる本所にいる間に色々学んでおきたいですね。

片桐 私の一番の目標は、先輩やお会いする方たちとの“雑談”についていくことです！ちょっとした会話の中でも不意に農業についての話になるので、名前だけではなく成分まで知っていないと話についていけないことが多くて・・・。

近藤 今はまだ、自分より詳しい人の方が多いからね。

片桐 まだ知識が浅くて、私に問い合わせがなかなか来ないのですが、最終的には気軽に電話をいただいて、何でも質問してもらえるようになりたいですね。

就活生へのメッセージ

ー就活生に一番近い立場の皆さんから、アドバイスをお願いします。

佐々木 なるべく人に会ったり説明会に行ってみたりと、雰囲気を実際に感じるのが大事だと思います。僕は東京と北海道の就職で迷っていましたが、東京に1か月インターンで行った時に、満員電車や東京の雰囲気が好きになれなくて、北海道で働くことを選びました。迷いが生じたときには、まず動いてみるのが大事だと思います。

片桐 何もせずに悩んでいるよりは、行動に移してみるのが良いよね。就活している皆さんには「面接は、迷わず正直に話してみてください。」と伝えたいです。私はずっと、“面接は評価される場”だと思っていたので怖かったのですが、評価されるだけではなく自分の話を楽しく聞ってくれる面接も多く、「あなたってこういう人ですね」と気付きを与えてくれる場面もありました。あまり怖がらずにいろんなことを話してみるのが良いと思います。

近藤 就活は全力でやった方が良いと思います。僕は全力で就活をやったので、今ホクレンで働くことに喜びを感じていますが、就職先ひとつで人生が変わることもあると思いますし、自分の目でしっかり見極めて納得した上で就職するのが良いと感じています。就活は場数を踏むことが大事だと思います。ある日突然、「就活ってこうやってやればいいんだ」とわかる瞬間があるので、数をこなしていくことで見えてくることもあると思います。

